

正 観

2025年 8月号

(無情の現象界の奥に恒常不変の本体的、理念的なものを正しく心に写し対処する)

会 長 曾根 孝悦 ・ 幹事長 三條 貞夫 ・ 事務局長 遠藤 近志

本年はIGKCが昭和40年（1965年）に結成されてから60年目となり、10月に記念事業として東京で全国例会、国際親善剣道大会が開催されます。

全国例会では台湾、韓国、諸外国からの参加者を含めた合同稽古会、審査研修会、懇親会が行われ、国際親善剣道大会では地区別、国別の団体戦のほか、個人戦として男子年齢別、女子段位別で行われます。皆様には記念事業に参加され、剣道修行の一環として、また交流を通して国際親善にも寄与していただければ幸いです。

暑さの厳しい日が続いておりますので会員の皆様にはどうぞご自愛ください。

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ 東北地区クラブ

幹事長 三 條 貞 夫



1 福島県飯坂町例会の報告

6月21日・22日の土日、佐藤孝康先生はじめ、佐藤弘明先生、氏家正紀先生のお骨折りにより福島県の福島市立飯坂小学校体育館および飯坂温泉「福の住む宿 福住旅館」において令和7年度第2回目の地区例会が開催されました。19名の会員並びに今回も

昨年同様、福住旅館を営まれている紺野正敏八段（関東地区クラブ）はじめ地元の剣士の方々にも沢山参加していただき充実した例会となりました。

開会にあたり曾根孝悦会長から「暑い中での例会、ひとつでも何かを得て向上の糧として欲しい。また東北地区クラブが担当となる再来年の全国例会に向けて強化もしていきましょう。」と激励のご挨拶をいただきました。

熱意のこもったご指導を賜りました遠藤会長はじめ曾根先生、佐藤先生、三條先生、紺野先生、並びに立派な会場をご高配賜りお世話いただいた佐藤先生・氏家先生、ご参加くださいました会員の皆様に改めて感謝申し上げます。また今回ご都合のつかなかった会員の皆様も次回は是非参加くださいますようお願いしております。

～1日目～

審査研修 始めに審査研修が行われました。遠藤勝雄先生、佐藤孝康先生、三條先生から課題の指摘や丁寧なご指導を賜りました。以下にご指導いただいた点の一部を記載させていただきます。

～七段受審者～

- ・気合は良い
- ・技を出すまでの攻め口が見えず無駄打ちになっている。技を出すまでの過程が大事。
- ・攻め合い、崩し合いがなく打つ機会でないのに自己都合で技を出しても評価されない。技を出すまでの攻め合い、崩し合い、語らいを研究すること。



～八段受審査者会場～

- ・相手のペースでなく自分がペースを作る。もっと主体性をもつこと。
- ・気位を前に出して自分で相手を動かす。
- ・手の内の冴えがない。
- ・中途半端な打ちがみられる。迷わずに打ち切ること。
- ・当たっているが打ちが軽い。
- ・1本目をどう出すか、打ちを出すまでのやり取りを重視している。
- ・技ではなく気の勝負。

基本稽古 引き続き三條先生に講師を務めていただき基本打突の実技講習を実施しました。

- ① 面打ち
- ② 出端面
- ③ 攻めて面を打つ
- ④ 攻めて溜めて面を打つ
- ⑤ 攻めて相手を引き出して面に対する応じ技

会員同士の回り稽古 2分×5回



指導稽古 その後遠藤先生、曾根先生、佐藤先生、三條先生の4名の八段の先生に元に立っていただき、約1時間指導稽古をいただきました。

曾根先生から「今日得たものを明日からの稽古につなげて向上に役立てて欲しい。」との挨拶をいただいて1日目の講習が終了しました。



懇親会

太古の時代にヤマトタケルの病を回復に導いたと伝えられる飯坂の名湯で汗を流し疲れを癒した後は美味しいお料理をいただき銘酒を酌み交わしながらの楽しい宴です。

席上 遠藤名誉会長からは本日の講評として、会員の剣道が今より良くなって欲しいという思いの込められた貴重なお話を伺うことができました。

「普段の稽古で挑戦することで何らかの変化があるはず、変化が感じられないのは上につながるような稽古になっていないのではないかな。

自己都合で技を出している人が多い。当てなければいけないという気持ち強い。「当てて勝つ」のではなく「当たるように打つ」こと。その為には「攻め、溜め、乗る」という理合が必要。当てることにシフトして攻めを忘れている。つまり合気になっていない。相手とのやり取りの中で打つ機会でないのに技を出して無駄打ちになっている。

剣道は技を出す前のやり取り、過程が7，8割。一本目を出すまで打ち急がない。打たないところに位がある。機会を捉えてしっかり打ち切ることが大事。

日頃、当てることでなく技を出す前のやり取りを楽しむこと。相手を良く見て、動かして、乗って打ち切ることが評価される。それをやり続けることで変化を求める稽古をして欲しい。

与えた課題をどう受け止めて努力しているか、当てることにばかりに汲汲としないで課題解決のための普段の稽古が大事。普段の稽古を工夫してやって欲しい。日々の研鑽を積み重ねる努力によって錆が取れることを期待しています。」

古濱久美子先生からは6月7日、8日に韓国ソウルで開催された第38回国際オープン韓国社会人剣道大会のご報告がありました。東北地区クラブからは曾根孝悦先生、古濱久美子先生、小淵俊江先生、文 載圭先生、及川勝政先生、及川成美先生の6名が参加されました。

日本選手団は団体戦（5人制）で50代チームが優勝、60歳以上の部（3人制）で近畿チームが優勝、個人戦70歳以上の部で田頭先生（近畿）が優勝、高野先生（近畿）が3位、という成績だったそうです。詳しくはIGKCホームページをご覧ください。

また古濱先生は6月2日に日本武道館で開催された「全日本高齢者武道大会」において女子個人戦65歳以上の部で**準優勝**という立派な成績をおさめられ、皆で祝福いたしました。あらためて、ご快挙に対しお祝い申し上げます！

剣道談議に話は尽きない楽しい時間も三條先生の閉会のご挨拶と伊勢健一先生の伊達一本締めでお開きとなりました。



～2日目～



2日目は、遠藤先生から座学でご指導いただきました。その後は実技指導を受け、最後は八段の先生方も加わり回り稽古を行いました。



座学 事務局メモからの要点を記載します。

- ・発達段階は守破離の教え（初級、中級、上級）
 - 守：先生の教えをカーボンコピーのように学ぶ
 - 破：A先生の弟子がB先生のところに行く。様々な稽古、実践力を高めていく
 - 離：多様な技から技を整理していく
- ・技をしぼらないといけない、どんな気持ちで技を出すか。初太刀一本千本（の価値）の教え。
- ・遠間、近間、一足一刀の距離
- ・虚実について：「虚」は相手に対応しているすべて、「実」は表、例えばヤーと声を出しているところ。
- ・スピード、パワー、技術力の勝るものが勝つでは剣道は浅くなる。
- ・相手に従うの勝ち（活人剣）、相手の動作をよく見て合気になって。

- ・文化の継承：体験を通じた知識の確認。竹刀を通して身体にどう影響を受けたか。感じ方、感性が大事。IGKCは文化の継承を行っている団体である。
 - ・同じ手をたたくでも仲居さん、魚の鯉、鳥で感じ方が違う。自分で悟るしかない。
 - ・前に与えた課題が2カ月経っても1年経っても変わっていない。個人の努力があったのかなかったのか。
 - ・技を出すか出さないか、技は末で支えるは心。攻め、ため、打つ機会がなければ打つな。なければ攻め崩して機会を作る。技を打ち切る。
 - ・本当に自分が攻め勝って技を出しているかどうか。自信がないと技を出せない。(心法、身法)
 - ・対等な場合は精神的に負けた方が先に打つ。相手に技が通用しているのかいないのか。目の動き、肩の動き。目は口ほどにものをいう。動作を見て打とうでは裏をかかれる。
 - ・攻めの中の待ち、待ちの中の攻め。バンバンと打つ人は簡単、打ってこない人は難しい。
 - ・打った時に手の内に締まりのないものはダメ。(絶対に必要なもの)
 - ・手の内は「緊張」と「弛緩」。
 - ・持田先生は基本に50年という。
 - ・高野佐三郎先生の水平切りは、切った後の手の返しが残心。
 - ・心法：気は動作になって表れる。心気ひとつ。気は心を乗せて充実した氣勢で体を通して実践していく。
- ＜参考＞『小野派一刀流極意』の「心気一如」の解説の中に「心は薪（たきぎ）で気は火のようなものである。」という一節があります。勢いのある盛んな火を燃やすためには乾いた良質な薪が必要。すなわち心の明哲、純潔、堅確を長養しなければならない。
- ・知っているだけでは何にもならない。実践して体を動かして体得していくことが大事である。

実技指導・回り稽古

座学の後は、実技指導です。表からの攻め、裏からの攻め、攻めからの打突、相手を引き出しての打突、すり上げ技などを実際の体裁きや攻めの剣道の在り方とともにご指導いただきました。実技指導をいただいた後は回り稽古で学びを実践し、2日目を終了しました。



(1) 参加者（敬称略・順不同）

宿泊；遠藤勝雄、佐藤孝康、三條貞夫、古濱久美子、佐藤弘明、細矢国昭、
伊勢健一、小林房雄、平子雅道

稽古；曾根孝悦、紺野正敏（関東地区）、三浦 均、西口 晃、種村信行、
氏家正紀、井上 均、柴崎 裕、頼金達臣、江俣和代、渡邊一仁

(2) 差し入れ（お酒、ワイン、おつまみ）をいただきました。

三條貞夫先生、古濱久美子先生、佐藤弘明先生、細矢国昭先生、伊勢健一先生
ありがとうございました。

2 全国通常総会の報告

艶やかな青葉が爽やかな風に揺れる5月3日（祝）ホテルオークラ京都において国際社会人剣道クラブ理事会並びに通常総会が開催されました。議長に三條幹事長が選任され、議案は曾根会長によって説明されました。概要は下記の通りで、満場一致で承認されました。東北地区クラブからは曾根会長、三條幹事長、古濱久美子先生、盛島明彦先生、小淵俊江先生、小林房雄先生、中村 等先生、渡邊一仁先生、江俣和代の9名が出席いたしました。詳細は後日本部より送付される報告書をご覧ください。

○第1号議案事業報告については、広島・福山市での全国例会をはじめ各地区例会はもちろん、3月台湾・高雄市国際親善剣道大会、5月フィンランド・スエーデン・ラトビア（湯村カップ）、6月韓国社会人剣道大会等の海外交流事業も活発に展開されたことが報告された。

○第3号議案事業計画では今年度の全国例会が10月24日(金)～26日(日)に東京都目黒区立中央体育館および東京プリンスホテルを会場に準備が進められている状況報告があった。国際交流事業に関して今年度は例年のように進めていく方針で参加者を募ることが説明された。

○第5号議案では各地区クラブの事情による役員交代に伴い理事会の役員交代があった。

＜関東＞常任理事	会計担当	幡野幸一先生（新任）
＜東海＞常任理事		足立 誠先生（退任） 酒井武信先生（新任）
常任理事		小島 克枝先生（新任）

○第7号議案

*家族会員の年会費は8千円、会長職を全うして名誉会長に就任した会員および90歳を超えた会員は年会費が免除されることが規定された。

*表彰規程が制定された。

＊台湾・高雄国際親善剣道大会の報告 ＊詳細はHPをご覧ください。

個人戦結果 女子40歳以上 優勝 岩崎美穂先生（中国）
準優勝 安田由美子先生（近畿）
男子65歳以上 優勝 田頭啓史先生（近畿）
男子45歳～64歳 優勝 佐藤健二先生（関東）

＊剣道世界大会応援クラブに会費を納めることを承認。

3 昇段・称号審査合格者のご報告

【令和6年度】

七段	種村信行先生（山形）	5月	名古屋	枇杷島スポーツセンター
	相澤俊夫先生（宮城）	8月	仙台	本山製作所青葉アリーナ
	頼金達臣先生（福島）	11月	東京	エスフォルタ八王子
教士	氏家正紀先生（福島）	5月	京都	京都市武道センター
	三條祐介先生（山形）	5月	京都	京都市武道センター
	小淵俊江先生（宮城）	11月	東京	日本武道館
錬士	小林房雄先生（宮城）	11月	東京	日本武道館
	及川成美先生（宮城）	11月	東京	日本武道館

【令和7年度】

教士	細矢国昭先生（福島）	5月	京都	京都市武道センター
----	------------	----	----	-----------

あらためておめでとうございます！益々のご精進とご活躍を祈念しております。

4 山形県米沢市例会のご案内

本年度第4回目の地区例会を下記の通り開催いたします。今回は1泊2日の合宿形式で開催いたしますが日帰りでの参加も可能です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(1) 日 時 令和7年8月16日（土）

- ① 午後2時から（午後1時30分集合）審査研修、八段元立ち指導稽古等
- ② 午後6時から 懇親会

令和7年8月17日（日）

- ①午前9時から テーマに沿った指導、八段元立ちの指導稽古等

(2) 稽古会場 三條かの記念館

〒992-0038 山形県米沢市城南1丁目5-27

TEL 0238-23-3334

(3) 宿泊場所 小野川温泉 やながわ屋旅館

〒992-0076 山形県米沢市小野川町2486

TEL 0238-32-2211

(4) 会 費 12,000円（宿泊参加の場合）

(5) 申込締切 令和7年8月6日（水）

《今後の例会の予定》

	開催予定日	開催場所	備考
地区例会	8月16日・17日(土・日)	山形県米沢市	決定
全国例会	10月24日(金)～26日(日)	東京都目黒区	決定
地区例会	11月8日・9日(土・日)	岩手県北上市	決定
地区例会	12月7日(日)	宮城県蔵王町	調整中
地区例会	令和8年1月 日本剣道形	宮城県仙台市	調整中

5 年会費納入のお願い

未納の会員が数名おられます。忘れずに納入いただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆ 当クラブ会長(本部理事長)曾根孝悦先生の著書紹介

「剣道は難しい、だから、楽しい」この著書は曾根先生が剣道を始めてから現在に至るまで、剣道を歩んできた事を集約したもので、指導の手引きや自分の剣道を高めるのに必ずや役立つものと思います。1冊1,000円で領布致します。各地区の指導者の皆様にも是非お勧めください。数がまとまれば発送いたします。

他地区クラブの幹事長紹介

お仕事や旅行などでお出かけのときは、剣道具を持って交剣知愛の機会をおつくりください。各地区クラブでは、どこでも大歓迎をしますよ。

北海道地区クラブ幹事長代行	出村大光氏	s-bungu@axel.ocn.ne.jp
関東地区クラブ 幹事長	中川岳人氏	nakagawatake@catv296.ne.jp
東海地区クラブ 幹事長	酒井武信氏	take3305501@gmail.com
近畿地区クラブ 幹事長	久保達也氏	tatsuyakubotatsuya@gmail.com
中国地区クラブ 幹事長	寺本昭彦氏	z04zkxf8fe@hi3.enjoy.ne.jp
九州地区クラブ 幹事長	池永祐一郎氏	yuici.kng@gmail.com

編集後記

三條幹事長がご挨拶の中で触れられましたが、国際社会人剣道クラブは本年創立60周年を迎えます。すでに渡邊事務局から開催案内が届きのことと存じますが、10月24日(金)から26日(日)に東京で開催される全国例会はその記念大会になりますので、是非多くの会員が参加して全国の剣道愛好家と剣を交え海外の剣士の皆様と交流を楽しんでいただきたいと思います。

(江俣和代)